

知事あての要望書

2020年4月28日

兵庫県知事

井戸敏三様

部落解放兵庫県民共闘会議
議長 川原芳和

新型コロナウイルス感染症に関わる差別事象の防止と啓発の徹底について

日々新型コロナウイルス感染症対策に奮闘されておられることに敬意を表します。

兵庫県に緊急事態宣言が発令され2週間が経過しました。全国に宣言が拡大された後も特定警戒都道府県の一つとなっています。

そのような状況の中、姫路市内の病院看護師が感染したことがわかると、その病院への納入業者が医療に必要な物品を納入しなくなった事例や他の地域においても感染者の自宅に石が投げ入れられる等、兵庫県内において新型コロナウイルス感染症に関わる差別事象が頻発しています。これらのいわれなき差別や偏見のもとづく不当な行為は決して許されるものではありません。つきましては下記の点について要望いたしますので、ご配慮のほどよろしく願います。

記

1. 知事会見の場で、県民に対して、新型コロナウイルス感染症の正しい知識をもち、冷静に行動するように改めて要請すること。併せて差別的な対応を厳に慎むように強く県民・事業者等に要請すること。
2. 緊急事態宣言終了後から新型コロナウイルス感染症終息に至るまでの県としての対応を県民・事業者へわかりやすく説明すること。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊している県民・事業者への救済措置等を速やかに具体的に提示すること。
4. 県民の安全・安心確保のために従事している医療・物流・公共交通機関従事者などへの支援と協力を再度県民に呼び掛けること。
5. 緊急事態に乗じた詐欺・転売などの行為に対して厳しく対処すること。

以上



▲人権参事へ要望書を提出

冒頭、則定広人健康福祉部社会福祉局人権参事に對し、川原芳和議長(兵教組中央執行委員長)から要望

書を手渡し、西岡裕事務局長(自治労兵庫県本部)が趣旨を説明した。

これに對し、則定参事は、「この要望の趣旨はしっかりと受け止めて対処したい。差別事象については注視し対処する。要望を踏まえ知事からもコメントするよう」と述べた。

続いて、橋本貴美男副議長(部落解放同盟兵庫県連合会)は、政府の10万円給付に關し「DVや申請手続など隣保館へも相談が

摘は承った。しっかりと対応したい」と回答した。なお、解放県民共闘会議に先立ち県議会ひょうご県民連合が、「新型コロナウイルス感染症対策に關する知事への要望」を取りまとめ、人権擁護に關して、①歴史的に見ても、ハンセン病、エイズなど、これまでいくつもの病気が偏見や差別の対象になってきた。既に、県内の感染症指定医療機関職員からは「勤め先を理由に、子どもがいじめられる」との悲痛な声が寄せられていた。医療関係者や患者関係者等への差別やデマは許されない。人権尊重・人権擁護の立場から、効果的な啓発を積極的に展開すること。また、知事が記者会見等において、人権擁護・差別事象防止の発信を

おこなうこと。②差別や貧困、不就学によつて文字の読み書きを奪われてきた人たちが存在する。補償や給付金などの施策がすべての人に行き届くよう、非識字者・情報弱者への申請手続きの支援をおこなうことを申し入れている。

兵教組では荒天等による緊急時の諸会議・集会の中止連絡を多くの方により早く情報を発信するため、兵教組HPを活用した方法で連絡をおこなっています。

※原則、会議開始時間の3時間前半を目途に判断し連絡しますが、急な対応が難しい場合や、前もって判断できる場合はこの限りではありません。

(例) 会議等の開催
10時開始→6時30分判断
13時開始→9時30分判断

兵教組では荒天等による緊急時の諸会議・集会の中止連絡を多くの方により早く情報を発信するため、兵教組HPを活用した方法で連絡をおこなっています。

差別があつてはならない！

4月28日、部落解放兵庫県民共闘会議は新型コロナウイルス感染症にかかり、差別事象の防止と啓発の徹底をもとめて、兵庫県人権推進課に對し知事あての要望書を提出した。

また、大野義政副議長(自治労兵庫県本部)からは、新型コロナウイルス感染症に關して「ある自治体で職員への差別事象が起つていて、あつてはならない」とあり、人権に配慮した対応をおこなうよう県内市町へも指導をもとめる」と要請した。加えて、川原議長は「各学校の運営も5月末まで延期されるような状況。病院や自治体、教職員など従事せざるを得ない人たちにへの配慮をお願いしたい」と申し入れた。これらについて、参事は「この指

摘は承った。しっかりと対応したい」と回答した。なお、解放県民共闘会議に先立ち県議会ひょうご県民連合が、「新型コロナウイルス感染症対策に關する知事への要望」を取りまとめ、人権擁護に關して、①歴史的に見ても、ハンセン病、エイズなど、これまでいくつもの病気が偏見や差別の対象になってきた。既に、県内の感染症指定医療機関職員からは「勤め先を理由に、子どもがいじめられる」との悲痛な声が寄せられていた。医療関係者や患者関係者等への差別やデマは許されない。人権尊重・人権擁護の立場から、効果的な啓発を積極的に展開すること。また、知事が記者会見等において、人権擁護・差別事象防止の発信を

▶要請の様子



元気にのびろ

市川町立川辺小学校 五年 梅原心奏

兵教組HPの緊急連絡画面のスクリーンショット。画面には「兵教組HP」のロゴと「緊急連絡」のボタンが prominent に見えます。また、「兵教組HP」のロゴの下には「兵教組HP」の文字があります。

春のバンケットプラン 2020年3/1sun 5/31sun

春のお祝い・お食事会・歓送迎会、様々なシーンに

ラスセホールの「春のバンケットプラン」では、旬な食材をお楽しみいただけます。ぜひこの機会にご利用ください。

特典 ●4月の日～木曜日のご利用 フリードリンク1アイテム追加 または、一文字看板サービス

2時間制 20名様から

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気、消毒の徹底をおこなっています。

お料理＋フリードリンク プッフェ形式にする、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得!

Aコース 【プッフェまたは、卓盛り】 お一人様 5,000円

Bコース 【プッフェまたは、卓盛り】 お一人様 6,500円

Cコース 【プッフェまたは、卓盛り】 お一人様 8,000円

フリードリンク

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110

お問い合わせ時間 平日・土 9:00～19:00 日・祝 9:00～18:00

ラスセホール

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8

TEL.078-291-1117 (代表)

FAX.078-291-0333

https://www.lassehall.com

E-mail info@lassehall.com

なぜ、教育研究（教研）活動にとりくむの？その①

教育改革と私たちの教育研究活動の在り方

常任研究所員
長尾 彰夫さん

教育改革とはどんなことか

日本の教育においては、常に教育改革の必要性が言われ続けている。教育改革がもとめられなかった時代はなかったかのようである。それはそうなのである。

教育は常にその時々々の社会の変化に応じて、絶えず新しく改革されていかなければならないからである。しかし、問題はその改革を誰が、どのような立場と視点から計画し、実行しようとするのかである。

教育改革の現状は

どうなっているか

教育改革といった場合、教育の制度的な改革、例えば6・3・3制をどうするかとか、どこまでを無償の教育とするのかとか、ま

た、最近大きな論議を巻き起こした大学入試改革とあったことも考えられよう。しかし、最も身近にその影響のある教育実践活動に、直接に影響のある教育改革は、学習指導要領の改訂にかかわった教育改革であろう。

この学習指導要領は、よくご存知のように、ほぼ10年をインターバルとして改訂されてきている。そして今まさに、学習指導要領の改訂がなされ、その実施が開始しつつある。この新しい学習指導要領では、その実施に先立って道徳の教科化がなされる一方、小学校では外国語の重視、強化がなされた。さらに、学習の新しい在り方（主体的・対話的で深い学び）がもとめ

られ、カリキュラム・マネジメントが重要とされ、プログラミング教育、キャリア教育等々が必要とされている。これらのことは、先行き不透明な変化の激しい、それこそAI社会の到来に備えての2030年にむけての教育改革であるとされている。しかし、こうした教育改革の在り方、方向性は私たちが是とし、もてきたことなのかどうか、そこを今一度、問い直しておかなければならない。

私たちの見据えるべき教育改革と教育研究活動の在り方

もちろん私たちとて、先行き不透明な2030年に

備えて、子どもたちがそこで生きていける確かで豊かな力（学力）を身に付けてくれることを願わないはずはない。また、その大きく変化していく社会の中でしっかりと物事を、それこそ主体的に判断し、行動していくことができる市民的価値観や行動規範（つまり、「持続可能な社会」における本来の意味での新しい「道徳性」といえるかもしれない）の獲得をなおさりにすべきではないと考えている。それは、私たちの見据えるべき教育改革の在り方に他ならないからである。では、そうした教育改革はどのようにして導き出されてくるのだろうか。

事実、私たちは日々の教育実践活動にとりくんで

る。それは、子どもや保護者を取りまくそれぞれの地域の具体的な多様な問題や課題に対してである。そこから私たちの教育改革の筋道が見出されていく。そして、その中でこそ教職員に求められる専門職性がある。それが問われているのである。それは学習指導要領で示されたことをそのまま子どもたちに教えるのみ、鵜呑みにさせていくことではないだろう。

しかし、現実的にはそうした専門職性の発揮を許さないほどに、教職員は多忙化の渦に巻き込まれそうになっている。それ故にこそ、私たちはお互いの教育実践の課題と成果を話し合い、知恵と工夫を交流していくことが必要なのである。これこそが、私たちのめざす教育研究活動の在り方の基本となっているのである。



ありがとう
丹波篠山市立西紀小学校 五年 湊 皓輝

兵政連だより

川西市議会議員
津田 加代子さん



議員として、組織内議員としての存在意義

議員になって、2018年までの12年間は、先輩議員とともに、議会のあり方を知り、その流れに沿うことで学びをしつつ、受け止めてきたこと数々。しかしながら、4期目の2018

「子どもが安心できる居場所づくり」に全力！

年から現在、議員は26人中9人が新しく変わり、（女性議員が26人中10人）新市長も誕生。「議会改革を」と言いつつも、前提を整えることに終始。仕切り直しの意見は、判断基準を示し、その言葉の元になる深い思考を伝えて、心に残る言葉にもなっています。今できている施策は当時、意味あつてきてきたもので、歴史を抜きにして考えられ

ません。安心した施策は、継続性も一つの要素。そこには過去を知っている議員の存在が大きいと考えます。後継を創りながら、柱（平和・民主主義・人権）を失うことなく、市民生活を支えていくことがもたらわれています。周りが変わっても変わらないことがあるもので、その方向性を見失うことなく示せる繋がりが今もとめられていま

す。だから顔がわかる、これまでの活動がわかる繋がりが必要で、それが『兵政連議員の誕生』であると感じます。

議員活動・地域活動

最後の勤務中学校で、人権担当として「居場所を創りだす」Ⅱ「空き教室の活用」に努力。退職時、教員の呼びかけでPTA有志

が、「昼時間の居場所確保を学校図書館で！」と図書館ボランティア誕生。「本好き子どもは、一人ぼっちになっても強い」「芯がある生き方ができている」と感じたこともあり、議員として13年間継続した「月1回の当番」に参加。今の学校をこの目で見ることができ、地域の方や保護者の方とも意見交換をしてきました。

また、地域に「居場所」を創りだすことを実現したいと地域の方々とともに、月1回「子どもとは？」という見たいいのか？」勉強会を続け、「地域に拠点を」とりくむ渦中に

ユニコムカード

ユニコムカード

を知っていますか？

兵庫県教職員組合協議会（兵教協）の「組合員証（ユニコムカード）」は、兵教組合員団結の証であり、県内143社（260店舗）の協力店で組合員だけの特別サービスが受けられる。兵教組HPのUNICOM CARDをクリックすると専用サイトへ。ユニコムカードが利用できる協力店とそのサービス内容を紹介しており、ジャンルやエリア別に店を検索することができ、積極的に活用しよう。



自動車共済

教職員のためだけの共済だから

「公務中」「通勤中」の事故は等級ダウンなし！

公務や通勤で車をよく使うから事故が心配...等級ダウン？



公務中の事故

どの契約コースでも「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！

通勤中の事故

補償充実コース6等級以上なら「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！

1 共済期間につき 1 回

あんしんむすぶ

教職員共済

資料請求は
お問い合わせ

教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目10-8
ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199

承 19-56-02 (1907)

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください、制度内容をご確認ください。